

2025年
5月



ちばさぽ通信 Vol.67

ボードゲームでPR! 千葉市のたから「加曽利貝塚」



表紙の団体紹介 加曽利貝塚活性化コンソーシアム

千葉市にある特別史跡加曽利貝塚をPRする団体です。活動としては「縄文」をテーマにしたボードゲーム「縄文将棋」「イボキサ碁(ゴ)」で遊びを通じて縄文体験できる環境を提供、ぜひ、ゲームを体験して「縄文時代」や千葉市の都市アイデンティティである「加曽利貝塚」について知って頂けたらと思います。



CONTENTS

● 事業&活動報告

- 令和7年度の事業について

● ちばさぽの風 Vol.67

● 登録団体活動紹介コーナー

● CatchUp

● ちばさぽからのお知らせ

- ちばボランティア塾今年度も開催
- 運営協議会委員募集
- 施設の貸出休止等のお知らせ
- ちばさぽ交流サロン 防災について考えよう!
- 市民活動マッチングカタログ2025完成

編集・発行

千葉市民活動支援センター

指定管理者：特定非営利活動法人まちづくり千葉

〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1

千葉中央ツインビル2号館9階

TEL：043-227-3081 FAX：043-227-3082

Mail：info@chiba-npo.net

Web：https://chiba-npo.net/

Facebook：https://www.facebook.com/chibasapo

公式LINEにご登録下さい。➔



〈開館時間〉

平日・土曜
午前9時～午後9時

日曜・祝日
午前9時～午後6時

〈休館日〉

年末年始
(12月29日～1月3日)



2025年度の主な事業の計画 ～こんなことやります&始めました～

千葉市民活動支援センターは、2022年度より「特定非営利活動法人まちづくり千葉」が指定管理者として施設の管理運営を担っていますが、おかげさまで4月より、5年間の指定管理期間の4年目に入ることができました。ここでは2025年度に予定している主な事業の計画の概要や方針、また既に始めている新たな取組についてご紹介します。

●「千葉市民活動フェスタ」の開催日・会場が決定！

市民公益活動の周知・参加促進、団体相互の交流等を目的とした年に一度のイベント「千葉市民活動フェスタ」の開催に向け、実行委員会を始動。開催日は「2025年11月15日(土)・16日(日)」に、会場は「さぼーる1階アトリウム」に決定しました。参加をお考えの団体の皆様は、まずは日程の確保をお願いします！



●「施設のPR」を積極的に展開します

公共施設や公的空間など、一般市民が訪れたり、人の行き来があったりする場所での「施設(当センター)のPR」を、積極的に展開します。登録団体の活動紹介や発表などのプログラムも盛り込み、上記の「フェスタ」を補完する事業に位置付けることも検討します。

●「ちばボランティア塾」は「新カリキュラム」に

ボランティアへの関心を高め、実際に活動する人を増やすことを目的とした養成講座「ちばボランティア塾」は、4年目

となる今年度からカリキュラムを一新して、登録団体の方(活動の実践者)による講話を多く盛り込みながら実施します。概要は4頁の記事を参照ください。

●企業や大学との連携を進めます

これまでにつながりを作った企業や大学等との継続的な関係づくりや、協働した取り組みの実施など、具体的な連携を進めていきます。

●「Instagram」始めました！

新たに「Instagram」での情報発信を開始しました！右のQRからどうぞフォローをよろしくお願いします！



@CHIBA_SAPO

◆4月からの体制について(新センター長よりご挨拶)

新年度より、原田正隆がセンター長に、永棟峰代が副センター長に就任しました。前センター長の山本俊子は、コーディネーターとして在職を続けます。2人の新入職員も迎え、職員一同、気持ちも新たに業務にあたります。引き続きご指導、ご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

ミニコラム

ちばさぼの風 vol.67 ボランティアのすすめ

こんにちは。千葉市民活動支援センター事務局長の榎浦です。今年度の「ちばさぼの風」では、生成AI「ChatGPT」を活用しながら、ボランティア・市民活動・地域活動に役立つ情報を発信していきたいと思えます。

今回は「ボランティアのすすめ」と題して、読者の皆さんがボランティアに参加しやすくなるような情報をお届けします。

少し私見になりますが、ボランティアに必要なのは、「やる気」「体力」、そして「時間」だと思っています。特に「時間」については、人生をある程度生きてきて感じたことがあります。それは、30代・40代の人にとって、ボランティアをする時間を確保するのは本当に難しいということです。まず仕事。30代・40代は仕事に打ち込む時期であり、残業も多く、休日も何かと忙しいものです。

次に家庭。結婚して子どもがいれば、子育てにかかる時間とエネルギーは計り知れません。たとえ子どもがいなくても、限られた余暇の中でボランティアを選ぶというのは、なかなかハードルが高いのではないのでしょうか。

さらに、この時期は経済的にも余裕がないことが多いです。実際、私自身も当時は時間もお金もなかなか自由に使えなかったことをよく覚えています。だからこそ、ボランティアは10代・20代のうちに経験しておくことをおすすめします。学生時代などに一度でもボランティアに関わっておくと、その後の人生に役立つ場面がきっと出てきます。また、50代以降で時間に余裕ができたなら、地域活動やボランティアに少しずつ関わってみるのも良いタイミングです。実際、地域の中

では町内会や自治会などに、自然と関わる機会が増えてくる時期でもあります。

最近では、「有償ボランティア」という新しい形も注目されています。これは、ボランティアでありながら、活動に対して報酬(謝礼や交通費など)を受け取る形態のことです。「ボランティアなのにお金をもらうのはおかしい」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、けれども、たとえば20代の若者が被災地に行って活動しようとする、交通費や宿泊費、食費などを全て自己負担するのは現実的ではない場合もあります。もちろん経済的に余裕があればよいのですが、支援があることで参加のハードルが下がるのも事実です。

無償ボランティアは、「無報酬で社会貢献する」という大きなやりがいがあります。一方で、継続しづらいという課題もあります。一方、有償ボランティアであっても、食事や交通費の支給があることで継続的に関われるなら、それは立派な社会貢献です。実際、子育て支援(ファミリーサポートなど)や地域活動(見守り、清掃活動、イベント運営など)では、さまざまな有償ボランティアの形が取り入れられています。参加を検討するときは、ボランティア情報の「活動条件」の欄をチェックし、自分に合ったスタイルの活動を選んでみてください。

ボランティアには、年齢やライフスタイルに応じたさまざまな関わり方があります。無理なく、自分らしいペースで一歩を踏み出してみたいはかがでしょうか？



登録団体活動紹介コーナー

シニアピアノで千葉県の認知症をゼロにする会

活動エリア▶千葉県
所在地▶千葉市美浜区
連絡先▶070-6577-2883 naomi3924p@gmail.com
担当者氏名▶村山 直美

「シニアピアノグループレッスンを各地で展開し、シニアの楽しみや繋がりやに寄与する。又、セミナーなどを通して〈ピアノが脳トレになる〉事を伝え健康でハッピーなシニアを応援する」事を目的に活動を始めました。シニアに教えた方（人に接することが好きな方）、習いたい方（50歳以上の方）を募集中です。コラボセミナーに興味を持って下さった方も、お気軽にご連絡ください！



スマホが学べる音楽バンド「ぱそばん」

活動エリア▶千葉市周辺地域
所在地▶千葉市周辺
連絡先▶pasoban015@gmail.com
担当者氏名▶太田 岳夫

一般社団法人パソコンからスピンオフした、パソコン・スマホ教室の先生だけで結成されたiPad演奏アマチュアバンド。ベテラン講師による、実用度の高いスマホレッスンを挟みながら、洋楽・邦楽の懐かしいメロディを披露する音楽ライブを開催。デジタルだけどアナログな楽しく学びのあるステージをお届けしています。



(ホームページ→) <https://pasoban.com/>

特定非営利活動法人 TIJ思徳会

活動エリア▶オンライン活動ですので、エリアは問いません
所在地▶千葉縣市川市
連絡先▶tijshitoku@gmail.com
担当者氏名▶市川 さゆり

日本で生活する外国の方、難民、避難民、また、日本語を学ぼうと思ってもなかなか機会が得られない方にオンラインで日本語教育を行っています。

私たちの活動にご賛同いただける方、教師は日本語教育の有資格者の方、広報や多文化交流イベントなどの企画運営はその資格は問いません。グローバルな視野で明るく前向きに、協力して温かいサポートをしてくださるメンバー、大歓迎です！



★ちばさぼ通信に掲載します！

「登録団体活動紹介コーナー」はいかがでしたでしょうか？皆様の団体もぜひ紹介させてください。160から180文字程度の団体紹介文と写真があれば掲載OKです。

只今、2025年7月、9月、11月、2026年1月、3月、5月各号の**紹介団体を募集中!!**毎号4団体の掲載を予定しています。

掲載を希望する団体は「〇月号団体活動紹介希望」と明記の上、発行前月の5日までに千葉市民活動支援センターまでメールをお送りください。

センターから「記入用紙」をお送りいたします。先着順となりますのでご容赦下さい。

尚、団体紹介は、1団体、年度内1回とさせていただきます。ご了承願います。



CatchUp

～“活動部会”の取組紹介～

「ピースフェア2025in千葉」開催のお知らせ

複数の登録団体などが連携し、共通の目的に向かって活動するのが“活動部会”。複数年にわたり活動を続けている部会である「ちばの空襲と戦争体験を語り継ぐ」が2014年から毎年開催しているイベント「ピースフェア」が、今年も開催されます。戦争体験を伝える紙芝居や体験談、詩の朗読、千葉市空襲犠牲者の読み上げなどのステージの他、パネル展示などが5日間にわたって展開されます。



6月21日(土)13:10から15:30には「戦争を繰り返さないための集い」が開かれ、「戦後80年手紙プロジェクト 若者が語る“未来への伝言”」と題した企画も。平和について感じ、考えるきっかけになります。ぜひ会場に足をお運びください。

《開催概要》

名称▶第12回 千葉市平和のための戦争展

「ピースフェア2025in千葉」

平和はともに創るもの

日時▶2025年6月18日(水)～22日(日)

10:00～17:30 (22日は17:00終了)

会場▶きぼーる1階アトリウム

入場▶無料

お問合せ▶TEL/FAX : 043-262-9534

E-mail▶marityan@kde.biglobe.ne.jp

(ちば・戦争体験を伝える会 市川さん)

※詳細は、以下のホームページをご覧ください。

<https://www7b.biglobe.ne.jp/~sensotaiken/>



ちばさぽ からの お知らせ

■「ちばボランティア塾」今年度も開催します♡

年6回実施する「ちばボランティア塾」は、7月19日(出)に初回を開催予定です。(全日程については調整中)。内容は、マッチングカタログ紹介、障害者・国際関係・災害関係・子ども食堂等の団体の方のお話やボランティア体験など、今までと違った視点の講座を計画中。詳しい内容は、ちばさぽホームページで5月中に発信いたします。楽しみにお待ちください。

■ 2025年度運営協議会委員募集！

「ちばさぽ」をもっと使いやすく、役立つ施設にするために運営協議会を年間6回程度開催。今年度は、毎回参加する「常任委員」に、自由参加の「協力委員」を交えて、ざっくばらんに意見交換していただきます。

募集▶常任委員 10名

応募▶5月28日(水)までにメールにて連絡、応募ください

第1回運営協議会 ※詳細は、ちばさぽホームページ参照

日時▶5月31日(土) 18:30~20:00

(2回目以降の日程はこの日に協議)

会場▶千葉市民活動支援センター会議室

■施設の貸出休止等のお知らせ

空調設備改修工事に伴い、2025年6月1日(日)から21日(出)まで、センターの会議室および談話室の貸出を休止させていただきます。ご利用の皆様にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。なお、会議室・談話室以外の設備は、通常通りご利用いただけます。また7月には、給排水設備改修工事に伴い、当フロアのトイレが利用できなくなる期間が生じる見込みです。詳しくは、館内の掲示をご覧ください。

■第1回ちばさぽ交流サロン

「防災について考えよう！」

～防災ゲーム・防災トイレ(展示説明)～

いざという時あわてないように専門家の話を聞いてみましょう！今回のちばさぽ交流サロンは、NPO法人千葉県防災士会をお招きして、「防災ゲーム」で楽しみながら防災についてのお話や、防災トイレの展示説明をしていただきます。日頃、疑問に思っていたことをぜひこの機会にお聴きしてみたいかがでしょうか。皆様のお越しをお待ちしております。

日時▶2025年6月22日(日) 10:00~12:00

会場▶千葉市民活動支援センター会議室

定員▶20名程度(お申込み先着順) 参加費▶無料



■「市民活動マッチングカタログ2025」完成！

センターの登録団体のうち、ボランティアや新メンバーを積極的に受け入れている31の団体を写真付きで紹介する冊子「市民活動マッチングカタログ2025」が完成しました！

カタログは当センター内に配架している他、以下のホームページ(二次元バーコード)からダウンロードもできますので、どうぞご活用ください。



<https://chiba-npo.net/archives/13385/>

○申込み方法(すべての講座・事業共通)

千葉市民活動支援センターまで、メール、FAX、TELにて、以下の項目をご連絡ください。

- ①事業名、②お名前、③ご住所(市区町村名まで可)、④連絡先(電話またはメール)、⑤所属団体(あれば)



温かいテクノロジー

今回ご紹介するのは、スタッフの希望で新規購入した本。著者の林要氏は、一時話題になった感情を認識するPepper君の開発に携わった人。そして、その後世に問う「家族型ロボット」が、身長43センチのLOVEに溢れた「らぼっと」です。なんとこの子(と、思わず言っちゃ)は温かいのですよ。そう、握手したり撫でたりするんだから、温かくなっちゃ。

ロボットという言葉は、カレルチャペックが1920年に初めて使いました。ロボットといえば1950年に発表されたアシモフの小説「I, robot(邦題:われはロボット)」に紹介された「ロボット工学3原則」をご存じの方も多いでしょう。そし

てLAVOTの発表は2018年。この100年ほどの間に人とロボットの関係は大きく変わりました。アシモフがちょうど中間にいたのは興味深いですね。

長い間ロボットは「機能性」「利便性」を求められてきました。しかし近年、助けてもらうロボットや、可愛がられるためのロボットという「新しい概念」が注目されています。AIの見方が変わる、未来の見え方が変わる一冊。ちばさぽの本棚にあります。



編集後記

■街中には新生活をスタートした人が目立ちますね。私も4月からちばさぽで皆さんのお手伝いをさせて頂くことになりました。見かけたら、気軽にお声がけください。(た)■両親が元気なうちに、1泊2日の旅行をプレゼントしました。でも自分が行きたい場所を選んでしまいました。喜んでくれたかなあ...(は)■忙しくてもボランティア活動は心身のバランスを保つポイント。中でも出会いは元気の源です。(ひ)■5月は食楽CHIBAやクラフトビールフェス、千葉公園「芝庭」の1周年など楽しそうなイベントがいっぱい開催されます。楽しみ!(ふ)■今年は彼岸過ぎても暑さ寒さが定まらず、桜も若葉も戸惑っているようです。ちばさぽも新年度、手探りしながら「お役に立つ施設」を目指してまいります(や)■健康の為に半年前から本格的に筋トレを始めてから、なんとベルトの穴が3つも縮まりました。これでまたもりもり食べられます。(し)■新年度、新たな活動をする際の困りごとには「専門家による個別相談」をぜひご活用ください。(よ)■5月24日25日は、大道芸フェスティバルinちば2025。みんな見に来てね!(か)■新年度が始まり1か月が過ぎ、4月は桜をたっぷり楽しみました。今年度もたっぷりちばさぽを楽しめたらと思います。(な)■4月から早や1ヶ月まだ若葉マークがとれません。優しい目でみてください。(の)